

JCMによるSDGs達成に向けた 貢献事例及び方法

2021年1月26日

ファームドウグループ 代表 岩井 雅之



Farmdo
group

農業と再エネで人と社会に貢献します。
グリーンリカバリーの実現を目指します。

農家の所得向上

生産者直産の販売支援
4000名の収入増に貢献

農業と福祉連携

障がい者35名就農
大学生46名実践教育

安全なデンキ

再生可能エネルギーでCO₂削減
30,000世帯分の電力供給

地域を元気に

再エネ農業で所得倍増
耕作放棄地500か所再生

ファームドゥ

食の駅・農援'S

地産地消の大型直売所



18
店舗

ファームクラブ

植物工場

イチゴ・トマト・レタス



72
圃場

ファームランド

太陽光発電

未利用地の有効活用

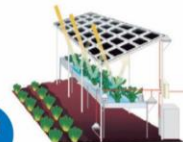


170
発電所

ソーラーファーム®

営農型太陽光発電

農水省や環境白書で紹介



50
ヶ所

Chison Marche 地産マルシェ®

首都圏に新鮮な農産物を



16
店舗

就農支援・農福連携

未来を担う農業者の育成



81
名

風力・小水力発電

青森で14か所計画



9
発電所

海外事業 モンゴル・チリ他

CO₂削減に貢献



4
か国



モンゴル



JCM THE JOINT CREDITING MECHANISM



ウランバートル郊外
28haの農場

発電規模
: 12.7MW

CO₂排出量削減
: **20万t** (予測)

売電開始
: 2017年11月

2013年 現地に合弁会社 (Everyday Farm LLC)を設立
JICA第5回協力準備調査(BOPビジネス連携促進)を実施

2015年, 2016年の計2回JCM設備補助事業に採択

Everyday Farm LLCの取り組み



女性の雇用機会の創出や収入の向上のため、ジェンダーバランスに配慮した雇用。



高品質で新鮮な野菜をウランバートルの住宅に届ける。去年は27トンの野菜を生産し、太陽光発電による収益基盤が日本の農業技術導入を可能にする設備投資を後押ししている。



太陽光発電は化石燃料の消費量を削減し、市内の大気汚染の削減にも貢献している



チリ



①チジャン／②マルビジャ

発電規模

: 3MW×2ヶ所

CO₂排出量削減

: **7万t** (予測)

売電開始予定

: ①2020年3月

②2020年8月

2019年 JCM設備補助事業（3MW太陽光発電所）に採択
現地に合弁会社（Farmdo Energy Chile SpA.）を設立

2020年 JCM設備補助事業で内示取得
3 MW太陽光発電所に加え、チリ政府農業灌漑省と連携し、
ソーラーファームのパイロットプラント建設・普及予定

 **JCM** THE JOINT CREDITING MECHANISM

チリ政府農業灌漑省



 **INDAP**
Instituto de Desarrollo Agropecuario y Rural
Gobierno de Chile

&

 **Instituto de Investigaciones Agropecuarias**
Ministerio de Agricultura, Chile



目標

- ・チリの中小規模農家向け普及の為、農業灌漑省研究施設にパイロットプラントを建設（2021年7月完成予定）
- ・2022年には50軒の農家にソーラーファームを普及
- ・今後5年間で200軒の農家に普及



（日本での事例）群馬県高崎市ソーラーファーム

積極思想で夢を実現する

夢があるから
目標があるから
計画があるから
実行があるから
結果があるから
分析があるから
成長があるから

目標ができる
計画ができる
実行ができる
結果ができる
分析ができる
成長ができる
夢ができる

積極思想で夢を実現する

夢：「再エネ」×「農業」でSDGsに貢献する

目標：20年以内にソーラーファームを10か国へ普及


計画：毎年新たなJCMプロジェクトの申請

実行：JCM設備補助事業を通じて現地に根ざす

結果：モンゴル事業定着、ソーラーファームを実践

分析：モンゴル・チリ事業で他国への展開ノウハウを育む

成長：チリ（南米）に進出、アジア、アフリカへ展開



ご清聴
ありがとうございました